

2011年4月1日

2011年度入社式 社長挨拶について

株式会社損害保険ジャパン（社長 櫻田謙悟）では、4月1日（金）午前10時20分から本社ビルにおいて入社式を行いました。

つきましては、入社式における社長挨拶の要旨を別紙のとおりまとめましたので、ご連絡します。

<ご参考>

○2011年4月	新卒入社人数	
	・総合系グローバル職員	96名
	・総合系エリア職員	232名
	合計	328名

以上

はじめに

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震によって被害を受けられた皆さまに心からお見舞い申し上げます。

1. 損保ジャパンの「挑むDNA」(お客さま評価日本一)

損保ジャパンは、1888年に日本で初めての火災保険会社「東京火災」として誕生し、今年で創業123年目を迎えます。この東京火災の私設消防組は、火事が起きるとお客さまのご自宅に駆けつけ、命がけで消防活動をしていました。

ここに損保ジャパンの原点があると考えています。「お客さまの期待を上回る行動を誇りとする」こと、そして「既存概念にとらわれずに、困難の先にある新しいことにチャレンジする」こと、これらはまさに災害現場に真っ先に駆けつけて消火にあたる「火消し」の精神を源流として形成された損保ジャパンのDNAです。

東北地方太平洋沖地震による被害は甚大であり、この未曾有の災害への対応は、損保ジャパンにとっても創業以来最大の試練になります。損保ジャパンは保険金をいち早くお支払いさせていただくため、現在被災地区の12か所に災害対策本部・対策室を立ち上げ、全国から社員を現地へ派遣しています。

また、私は地震発生4日後の3月15日に宮城県を訪問し、被災地の方々が今何を求めているのかについて把握し、必要な指示を出しました。

今後はさらに1000人を超える応援体制とする準備をしており、損保ジャパンは123年間受け継がれてきた「挑むDNA」をもって、まさに全社員が被災されたお客さまへの対応を進めているといえます。

2. 「損害保険3グループ時代」の環境認識

2010年4月に損保ジャパンは日本興亜損害保険株式会社と経営統合し、共同持株会社「NKSJホールディングス株式会社」を設立しました。

国内損害保険市場は、大手3グループでマーケットシェアの約9割を占める「損害保険3グループ時代」となり、文字通り大競争時代に入りました。

我々は成長を求めて、国内生命保険事業の取組強化、海外保険事業への積極的な投資を進めると同時に、損保ジャパンだけでも1200万人いらっしゃるお客さまにご満足いただける「サービス産業」への転換を目指します。

3. 皆さんに期待すること

損保ジャパンが目指す「お客さま評価日本一」を実現するためには、「人材力」が最大の要素となります。

2010年7月には、「求める人材像」として「お客さま中心」「チャレンジ」「執念」「チームワーク」「コンプライアンス」の5つを掲げました。

皆さんには「求める人材像」を常に意識し、「人材力日本一の企業グループ実現」への原動力となることを期待します。

社会人としてスタートするにあたって大切なことは、仕事にやりがいを感じるかどうかは、仕事の内容ではなく、皆さん自身の「積極的な心の態度」で決まるということです。

困難な問題へのチャレンジやそれに伴う失敗は自身を大きく成長させる機会と前向きにとらえ、克服するための努力を繰り返すことが皆さんを人間として成長させることになります。

会社人生は、皆さん自身の「積極的な心の態度」で変わることを忘れずにいてください。

おわりに

本日から社会人として会社生活をスタートさせる皆さんひとりひとりが、仕事を通じて自らを大きく成長させることを心から願って、私の歓迎のメッセージとします。

以上